

会 告

2024 年度日本草地学会帯広大会のお知らせ

2024 年度日本草地学会帯広大会（第 70 回総会，第 80 回発表会）を下記の要領で開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。詳細について変更があった場合は随時大会ホームページに掲載いたしますので，更新情報にご注意ください。

大会までのスケジュール

- 1) 講演受付および講演要旨提出期間：
2024 年 6 月 21 日（金）から
2024 年 7 月 19 日（金）17 時まで
受付・要旨提出先：大会ホームページ <https://grasslandscience.jpn.org/taikai/>
- 2) 小集会の申込み締切：2024 年 7 月 19 日（金）
大会用メールアドレス宛 meeting2024@grasslandscience.jpn.org
- 3) 参加事前申込（早期割引）締切：
2024 年 8 月 23 日（金）
- 4) 講演資料提出期間：
2024 年 9 月 5 日（木）から
2024 年 9 月 19 日（木）17 時まで
講演資料提出用メールアドレス宛
presentation2024@grasslandscience.jpn.org

1. 会場

とがちプラザ

〒080-0014 北海道帯広市西 4 条南 13 丁目 1 番地

会場までの交通手段は以下の URL をご参照ください。

<https://okamotopbc.jp/tokachi-plaza/guide/access/>

2. 日程（仮日程です。時間等は変更される場合がありますので、大会ホームページで最新版をご確認下さい。）

2024 年 9 月 26 日（木）	9:30-11:30	日本草地学会評議員会
	11:30-	受付，賛助会員・企業展示
	12:00-13:00	各種委員会
	13:00-15:30	口頭発表（優秀若手発表者賞）
	15:30-17:00	口頭発表（シニア・一般講演・企業）
	17:00-18:00	優秀若手発表賞選考委員会
	18:30-20:30	懇親会
2024 年 9 月 27 日（金）	8:45-	受付，ポスター展示，賛助会員・企業展示
	9:00-11:00	企画シンポジウム
	11:00-12:00	ポスター発表コアタイム（奇数番号コアタイム）
	12:00-13:00	各種委員会
	13:00-17:00	総会，学会賞・優秀若手発表賞授与式，学会賞受賞講演
2024 年 9 月 28 日（土）	8:45-	受付，ポスター展示，賛助会員・企業展示
	9:00-11:00	口頭発表（一般講演）

11:00－12:00	ポスター発表コアタイム（偶数番号コアタイム，高校生発表）
12:00－13:00	各種委員会
13:00－17:00	企画シンポジウム，企画集会，小集会

3. 講演申込，講演要旨の作成・提出

- (1) 発表者は，年会費と参加費を納入した学会員に限ります。ただし，連名者はその限りではありません。
- (2) 発表課題は，発表者1名につき2課題以内です。
- (3) 発表方法は，口頭発表またはポスター発表とします。発表方法の希望は講演申込時に指定していただきますが，ご希望に添えない場合があることをご了承ください。発表方法は大会ホームページでご確認ください。
- (4) 講演申込は，インターネットでの自動受付で行います。大会ホームページより大会受付専用サイトにアクセスして，受付を行って下さい。申込受付期間は，2024年6月21日から2024年7月19日です。7月19日の17時に受付を終了します。原則として大会受付専用サイトから行って下さい。また，受付は演題ごとに行って下さい。すなわち，2演題の申し込みを行う場合は，別々に受付を行って下さい。
- (5) 講演要旨は，1演題当たりA4（上下左右余白25mm）で1枚です。大会受付専用サイトから最新のフォーマットをダウンロードして作成してください。講演要旨原稿は，WordファイルとPDFファイルに変換した2つのファイルを，「添付ファイル」の項目欄で添付して送信してください。一太郎ファイルの受付は行いません。送信後，受領の自動返信メールが送付されますので，通知がない場合はお問い合わせ下さい。なお，一度受け付けた演題は変更できません。アップロード前に十分推敲して下さい。

問い合わせ先：meeting2024@grasslandscience.jp

4. 口頭発表（一般講演）

- (1) 講演時間は講演12分，質疑3分の合計15分です（第1鈴10分，第2鈴12分，第3鈴14分30秒）。
- (2) 発表当日のコンピュータの操作は発表者ご自身で行ってください。
- (3) 講演資料は，PDFファイルのみの受付とします。ファイル名を講演番号と講演者名（講演番号-氏名）で保存し presentation2024@grasslandscience.jp まで添付ファイルとして提出ください。受付期間は，2024年9月5日から2024年9月19日です。9月19日の17時に受付を終了します。なお，PDFファイルは送信前に必ずご自身で動作確認をお願いします。
- (4) PDFファイル受付後，2日以内（土日祝日を除く）に大会事務局より電子メールアドレスに返信いたします。受領メールが届かなかった場合は，meeting2024@grasslandscience.jp までご連絡ください。
- (5) PDFファイルは，発表終了後に全て消去いたします。
- (6) PDFファイルの受付に関するお問い合わせは，meeting2024@grasslandscience.jp までお願いいたします。

5. 口頭発表（シニア講演）

- (1) シニア講演はシニア会員に限定せず，大会参加資格のあるすべての方を対象とします。
- (2) 講演内容は，①広い視野に立った啓蒙的な内容，②一つの課題を深く掘り下げた内容，③特定分野の研究情勢を紹介する内容，④その他，一般講演の範疇に入らないもの（新規の研究成果を含む必要はない）等とします。
- (3) 講演資料の提出方法については，上記の「口頭発表（一般講演）」を参照ください。
- (4) シニア講演に関するお問い合わせは，meeting2024@grasslandscience.jp までお願いいたします。

6. ポスター発表

- (1) 1課題のポスターは縦140cm×横85cmに収まるように作成してください。

(2) ポスターの取り付けは、大会 1 日目 (9 月 26 日) の 13 時から可能です。遅くとも発表当日の朝 (8 時 45 分～) にはポスターを取り付けてください。取り付けたポスターは、大会 3 日目 (9 月 28 日) の 17 時までには撤去をお願いします。

(3) ポスター発表者は指定された発表時間帯 (コアタイム) にポスターの前に待機し、説明してください。

7. 大会参加申込み

郵便振替による参加費の支払いをもって参加申込みとします。先に講演申込みをされた場合は、事前申込締切りの 8 月 23 日までに参加費の支払いをされないと、講演申込み完了となりませんのでご注意ください。申込みは第 70 巻第 1 号に同封の「日本草地学会大会事務局」宛の郵便振替用紙を使用し、通信欄に所定の事項を記入して下さい。備え付けの振込用紙でも構いません。複数名分をまとめて振り込む場合は、氏名等をそれぞれ記入して下さい。会員の方は ID 番号 (学会誌送付封筒に記載) も記入して下さい。なお郵便振替による参加費の支払いは 2024 年 9 月 10 日まで受付けます。期日を過ぎた場合は大会当日にお支払いください。

郵便振替口座 00110-4-704566

口座名 日本草地学会大会事務局

(1) 大会参加費 (講演要旨集代を含む)

	8 月 23 日まで	8 月 24 日以降
正会員	7,000 円	7,500 円
学生会員	4,000 円	4,500 円
非会員	8,000 円	8,500 円
学生非会員	4,500 円	5,000 円

ただし、シニア講演 (発表を伴わない) に限定して参加する場合は大会参加費を徴収いたしません (講演要旨集は別途ご購入ください)。その際は、8 月 23 日までに、meeting2024@grasslandscience.jpn.org へお知らせください。

(2) 講演要旨集

当日会場で購入	大会後郵送
3,000 円	3,500 円

8. 懇親会

(1) 日時 : 2024 年 9 月 26 日 (木) 18:30-20:30

(2) 会場 : インザスイート (〒080-0013 帯広市西 3 条南 11 丁目 1 番地)

Tel: 0155-22-6363

<http://inthesuite.jp/>

(3) 懇親会費 : 正会員・非会員 5,000 円, 学生・学生非会員 3,000 円

(4) 定員 : 200 名 懇親会の参加は、定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。

→9 月 6 日 (金) 17 時までに meeting2024@grasslandscience.jpn.org へお申し込みください。

9. 優秀若手発表賞について

本大会では、日本草地学会優秀若手発表賞 (口頭発表) を設定します。本賞に関しては、大会ホームページに記載しています。エントリーを希望する者は、指定のエントリーシート (大会受付専用サイトよりダウンロードして下さい) に記載の上、大会受付専用サイトから講演要旨と共に「添付ファイル」の項目欄を利用して送信して下さい。エントリーシートの申込受付期間は、2024 年 6 月 21 日から 2024 年 7 月 19 日です。7 月 19 日の 17 時に受付を終了します。講演資料の提出方法については、上記の「口頭発表 (一般講演)」を参照ください。

優秀若手発表賞の選考結果は、大会 1 日目の懇親会および大会 2 日目の朝に大会受付でアナウンスします。優秀若手発表賞授与式は、大会 2 日目午後を予定しています。

10. 企画シンポジウム・企画集会

本大会では企画シンポジウムと企画集会を予定しています。詳細は未定ですが、内容が決定次第大会ホームページに掲載いたします。

11. 小集会の申込み

小集会の開催を希望される方は、大会ホームページの案内に従って、2024 年 7 月 19 日までに大会用メールアドレス (meeting2024@grasslandscience.jpn.org) にお申込みください。

12. 企業広告・展示・発表の申込み

企業による広告掲載、ブース出展、企業セッション発表を募集します。

(1) 講演要旨集への広告掲載：1 ページ 12,000 円、半ページ 6,000 円

(2) 企業ブース出展：1 ブース (180cm 幅程度) 出展料 10,000 円/日 (賛助会員は無料)

(3) 企業セッション発表：参加費 10,000 円、発表時間 10 分

上記(1)~(3)から自由に選択可能です。(2)ブース出展に申し込まれた企業から 1 名を懇親会にご招待(無料)いたします。追加で懇親会に希望される方には、参加費と懇親会費をお支払いいただきます。

お問い合わせ・お申込みは、7 月 31 日までに大会用メールアドレス (meeting2024@grasslandscience.jpn.org) までご連絡ください。

13. 高校生研究発表

高校生による研究発表 (ポスター発表) を募集します。

(1) 参加資格：高等学校または高等学校に相当する教育機関に在籍する生徒個人あるいはグループ (普通科、専門学科、総合学科などの教育課程および校種等は問いません)。

(2) 発表内容：草地および草原に関わる調査研究および実践的な取組みに関わる内容を幅広く受け付けます。

(3) 発表者全員および引率教員等の関係者の大会参加費は無料です。他の講演・発表も自由に聴講可能です。

(4) 申し込み方法などの詳細は決定次第大会ホームページに掲載いたします。

(5) 高校生研究発表に関するお問い合わせは、草地学教育委員会 (担当：八代田真人, yayota.masato.t4@f.gifu-u.ac.jp) までお願いいたします。

14. 宿泊の案内

宿泊施設は大会事務局では斡旋いたしませんので、各自でご予約をお願いいたします。9 月は帯広の繁忙期にあたり、ホテルの予約が非常に困難になる時期ですので、早めのご予約をお勧めします。

15. 託児室

とかちプラザの託児サービス利用にあたり、事前の予約が必要です (<https://okamotopbc.jp/tokachi-plaza/guide/nursery/>)。

上記の利用者枠を超える場合や対象年齢外の場合は、本大会での設置を検討します。

お子様連れで参加を予定されている方は、7 月 31 日までに大会運営委員会用メールアドレス (jsjgs2024@obihiro.ac.jp) までご連絡ください。

16. 連絡・問い合わせ：E メールでお願いします。

内容が分かるように、下記に示した題目をタイトルにつけて、大会用メールアドレス (meeting2024@grasslandscience.jpn.org) までご連絡ください。

(1) 題目：会場関係、講演・プログラム関係、その他

(2) メールタイトル記載例：講演・プログラム関係 (返信メールが届きません)、等

—2024年度 日本草地学会帯広大会 第70回総会・第80回発表会—

会場：とかちプラザ
北海道帯広市西4条南13丁目1番地

日程： 2024年9月26日（木）～ 9月28日（土）

大会本部	大会期間中（9月26日9：00～9月28日17：00）	レインボーホール入口ロビー
受付	9月26日（木） 11：30～17：00	同 入口ロビー
	9月27日（金） 8：45～17：00	同 入口ロビー
	9月28日（土） 8：45～17：00	同 入口ロビー
賛助会員・企業展示	9月26日（木）11：30～9月28日（土）17：00	同 入口ロビー
発表会 優秀若手発表賞発表	9月26日（木） 13：00～14：20	A会場
一般・企業口頭発表	9月26日（木） 14：30～16：45	A会場
一般口頭発表	9月26日（木） 14：30～17：00	B会場
	9月28日（土） 9：00～11：00	A～B会場
ポスター展示	9月26日（木）13：00～9月28日（土）12：00	ポスター発表会場
ポスター発表 奇数コアタイム	9月27日（金） 11：00～12：00	ポスター発表会場
	偶数コアタイム、 高校生発表	9月28日（土） 11：00～12：00
ポスター撤去	9月28日（土） 12：00～16：00	ポスター発表会場
総会、 学会賞・優秀若手発表賞授与式、 学会賞受賞講演	9月27日（金） 14：00～17：00	A会場
草地農業フォーラム	9月28日（土） 13：00～17：00	B会場
企画シンポジウム	9月27日（金） 9：00～11：00	A会場
企画集会	9月27日（金） 9：00～11：00	B会場
小集会1	9月27日（金） 12：00～13：45	A会場
小集会2	9月28日（土） 9：00～11：00	E会場
小集会3	9月28日（土） 11：00～13：00	A会場
日本草地学会評議員会	9月26日（木） 9：30～11：30	C会場
優秀若手発表賞選考委員会	9月26日（木） 16：30～17：30	C会場
和文誌編集委員会	9月27日（金） 12：00～13：00	B会場
草地学教育委員会	9月28日（土） 12：00～13：00	E会場

A会場：レインボーホール、B会場：視聴覚室、C会場：研修室306、D会場：研修室307、
E会場：会議室304、ポスター発表会場：ギャラリー

- 日本草地学会帯広大会 日程 -

9月26日（木）			8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	
受付場所	とがちプラザ1F	レインボーホール入り口						受付, 賛助会員・企業展示							
A会場	とがちプラザ1F	レインボーホール						口頭発表 (優秀若手発表 賞発表)		口頭発表 (一般講演・企業)					
B会場	とがちプラザ2F	視聴覚室							口頭発表 (一般講演)						
C会場	とがちプラザ3F	研修室306			評議員会							優秀若手 発表賞選 考委員会			
ポスター 発表会場	とがちプラザ1F	ギャラリー						ポスター展示							
休憩室	とがちプラザ3F	会議室305		会員控室											
懇親会会 場	インザス イート													懇親会 18:30-20:30	

9月27日（金）			8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
受付場所	とかちプラザ1F	レインボーホール入り口			受付, 賛助会員・企業展示									
A会場	とかちプラザ1F	レインボーホール			企画シンポジウム「飼料作物を活用したDAC農業の実現に向けて」			小集会1「放牧管理にドローンを使っちゃいなよ！ ー生産性向上と環境負荷低減に向けた牛糞分布の把握と制御ー」		総会, 学会賞・優秀若手発表賞授与式, 学会賞受賞講演				
B会場	とかちプラザ2F	視聴覚室			企画集会「草地・牛管理のためのスマート技術の現地導入」			和文誌編集委員会						
ポスター発表会場	とかちプラザ1F	ギャラリー			ポスター展示	奇数番号 コアタイム	ポスター展示							
休憩室	とかちプラザ3F	会議室305			会員控室									

口頭発表プログラム 9月26日

A会場（とがちプラザ1F レインボーホール）

時間	座長	優秀若手発表賞発表	
13:00	渡邊修	Y01	深層学習による牧草地のエゾノギシギシ検出のための効率的な学習用データセット作成条件の検討 ○黒木康士朗1・八木隆徳2・宮地 慎2・牧島美夢1・眞田康治2・高原美規1・秋山征夫2（1長岡技科大院物生・2農研北海道）
13:15		Y02	無人航空機を活用したウマ放牧地におけるギシギシの分布把握 ○垣内香澄・川村健介・神谷 詩・大越証路・甕 美里・大野実穂（帯広畜産大学）
13:30		Y03	牛糞の空間分布は制御可能か？一水飲み場の位置が牛の滞在場所と牛糞分布に及ぼす影響— ○加藤幹也1・八代田真人2・川村健介3・安田泰輔4・北川美弥5（1岐阜大自然研・2岐阜大応生・3帯広畜産大環境農学・4富士山科学研究所・5農研畜産）
座長交代			
13:50	山田大吾	Y04	乳牛放牧地の利用年数が糞の分解および糞周囲の牧草再生量に及ぼす影響 ○羽多野里佳1・呉 成真1・三谷朋弘1・河合正人2・上田宏一郎1（1北大院農・2北大FSC）
14:05		Y05	The effect of the combined application of agricultural waste- and manure-based biochar on soil properties, microbial abundance, CO2 emissions, and grass growth ○Laila Dini Harisa1・Dicky Aldian1・Darmawan2・Yayota Masato3,4（1United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University・2Faculty of Agriculture, Andalas University・3Faculty of Applied Biological Sciences, Gifu University・4GeFAH, Gifu University）

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 9月26日

A会場（とがちプラザ1F レインボーホール）				B会場（とがちプラザ1F 視聴覚室）			
時間	座長	企業発表		時間	座長	6. 育種	
14:30	北川美弥		【LRTK】スマホで単点群と高精度位置方位情報付き写真撮影による草地の地図化 レフィクシア株式会社	14:30	足利和紀	601	チモシーの幼苗冠部乾燥処理法による耐乾燥性の評価 ○高畠聡史（道総研北見農業試験場）
14:45			ハンディ近赤外分光器の特長と活用 株式会社アイ・アール・システム	14:45		602	イタリアンライグラス二倍体品種・系統集団におけるアレル頻度によるゲノミック予測精度 ○田村健一・荒川 明2・清 多佳子1・山口貴史1（1農研畜産・2農研九沖）
15:00	休憩		15:00	603		寒地向けオーチャードグラス極晩生新品種「北海34号」の育成とその特性 ○眞田康治1・横山 寛2・佐藤広子1・秋山征夫1（1農研北海道・2雪印種苗）	
15:15	座長	2. 造成・管理・栽培		15:15	休憩		
	堤道生	201	土壤凍結地帯における採草多回による高消化性自給飼料の生産 ○中村直樹1・松本武彦2・谷川珠子1・田中常喜1（1道総研酪農試・2秋田県立大）				
15:30		202	熊本県阿蘇地域における野草の栄養評価 ○野崎由美1・古田雅子2・鶴田 勉3・猪野敬一郎1（1熊本農研七草研・2熊本農大校・3熊本玉名振興局）	15:30	座長	3. 放牧・家畜管理・行動	
15:45	休憩		15:45	土井和也	301	島根県知夫村公共牧場の放牧された黒毛和種繁殖雌牛の夏期における代謝エネルギー要求量の推定 ○一戸俊義1・関 耕平2（1島根大学生物資源科学部・2島根大学法文学部）	
16:00	石井康之	203	日射制御可能な営農型太陽光発電の牧草栽培への活用：2.可動式パネルによる日射量確保の効果 ○八代田真人1・鈴木伴英2・森 敏彦2・合原地亮3（1岐阜大応生・2中部電力・3ガリレオ）		16:00	302	放牧下の子めん羊におけるタンパク質給与レベルが免疫状態および糞中寄生虫卵数に及ぼす影響 ○清水琉聖・吉田葉奈子・山田未知・菊 佳男・中辻浩喜（酪農大）
16:15		204	周年放牧草地の植生回復に向けたセンチピードグラス（ <i>Eremochloa ophiuroides</i> (Munro) Hack.）小型ソッドの張りシバ法の評価 ○平野 清・堤 道生・柿原秀俊・胡日査（農研西日本）		16:15	休憩	
16:30		205	草地表面へ施用した各種被覆尿素からの窒素溶出（第4報） ○山田大吾1・北川美弥1・金子 真2・平野清3・望月賢太4（1農研畜産・2農研本部・3農研西日本・4農研九沖）	16:30	八代田真人	304	広域無線伝送装置搭載の超低消費電力IoTデバイスを用いた放牧牛行動認識技術の開発 ○田村 崇1・佐藤 遥1・磯部泰徳1・迫田元1・片岡亜子2・竹田謙一3（1ソニーグループ・2信州大院総合理工・3信州大学術研究院農）
16:45			16:45	305		3軸加速度と深層学習による姿勢変化を含めたウシの7行動認識 ○佐藤 遥1・田村 崇1・磯部泰徳1・迫田元1・片岡亜子2・竹田謙一3（1ソニーグループ・2信州大院総合理工・3信州大学術研究院農）	

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 9月28日

A会場（とがちプラザ1F レインボーホール）				B会場（とがちプラザ1F 視聴覚室）			
時間	座長	2. 造成・管理・栽培		時間	座長	1. 草地生態・システム分析 ・緑地環境	
9:00	伊東栄作	206	2 粒播種した飼料用トウモロコシの収量に及ぼす栽植密度の影響 ○義平大樹1・今 啓人2（1酪農学園大学・2道総研畜試）	9:00	板野志郎	101	2値データによる草地植生の調査とベータ2項分布による解析 ○塩見正衛1・陳 俊2・安田泰輔3（1茨城大学・2西北農林科技大学・3山梨県富士山研究所）
9:15		207	宮崎県都城地域のツマジロクサヨトウの食害による飼料用トウモロコシの収量・飼料品質に及ぼす影響の作期別実態調査 ○石井康之・桜庭 結・塚本夏帆・新美光弘・飛佐 学・井戸田幸子（宮崎大農）	9:15		102	2値データによる植生調査のべき乗則による解析 ○塩見正衛1・陳 俊2・安田泰輔3（1茨城大学・2西北農林科技大学・3山梨県富士山研究所）
9:30	休憩			9:30		103	土壌の水ポテンシャルと植物の葉と茎の含水率との関係：近赤外光センサーを用いた植物体内水分の非破壊測定 ○西脇亜也（宮崎大農）
9:45	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用		9:45	休憩		
	菅野勉	401	北海道十勝地域における「ハヤミノルド」を用いた子実トウモロコシ利用技術の検討 ○寺戸貴裕1・黄川田智洋2（1家改セ十勝・2農研北海道）				
10:00		402	汎用型循環式乾燥機によるトウモロコシ子実の効率的な乾燥条件の検討 ○佐々木怜樹1・浅沼未歩1・佐藤健太1・村田健洋2・松山裕城1・堀口健一1・浦川修司1（1山形大農・2山本製作所）	10:00	二門世	104	無人航空機（UAV）画像による採草地のマメ科率推定—UAVから推定したマメ科被度と重量割合の関係— ○川村健介1・田中常喜2・安田泰輔3・大越証路1・花田正明1・土井和也4・三枝俊哉4・八木隆徳5・須藤賢司5・奥村健治5・林 志炫6（1帯畜大・2道総研根創・3山梨富士山研・4酪農大・5農研北海道・6農研農環研）
10:15	休憩			10:15		105	UAV-SfM推定草高を用いたペレニアルライグラスの収量推定 ○牧島美夢1・真田康治2・高原美規1・秋山征夫2（1長岡技科大院物生・2農研北海道）
10:30	寺戸貴裕	403	完熟期イアコーンの破碎率向上 ○川出哲生1・志藤博克1・小林優史2・岡嶋弘2・吉田雅規3（1農研農機・2タカキタ・3徳島農総セ畜産）	10:30		106	ペレニアルライグラスの越冬後の収量予測—機械学習モデルの比較と感度分析— ○田中常喜1・秋山雄希1・角谷芳樹2・藤井弘毅2・山田敏彦3（1道総研酪農試・2道総研畜試・3北大）
10:45		404	肥育豚における調製方法の異なるトウモロコシ子実および 飼料用米の飼料価値の評価 ○松山裕城・小林真之介・菅原叶恵・萱場成隆・相馬奈央・佐藤健太・堀口健一・浦川修司（山形大農）	10:45	107	深層学習による飼料用トウモロコシ畑のアレチウリ検出 ○渡邊 修1・加藤成剛2・加藤遼太2・叶 戒玲1（1信州大学農学部・2信州大学大学院総合理工学研究科）	

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

ポスター発表（とがちプラザ1F ギャラリー）	
コアタイム：27日11：00－12：00 奇数番号 28日11：00－12：00 偶数番号 高校生発表	
1. 草地生態・システム分析・緑地環境	
P01	ドローン空撮画像を用いた汎用的な植生分類モデルの開発 ○安田泰輔1・川村健介2・北川美弥3・八代田真人4（1山梨県富士山科学研究所・2帯広畜産大学・3農研機構畜産研究部門・4岐阜大学応用生物科学部）
P02	複数の高度によって撮影されたUAV画像による3Dモデルの歪みの抑制 ○二門 世（道総研酪農試天北）
P03	共生性ケカビ門菌類の多様性解析手法の開発 ○原田峻介・齋藤勝晴（信州大院農）
P04	植物量を利用した放牧草地の地表温度推定モデル ○板野志郎・小宮山 遼・大和田章生・内藤多笑・田中繁史（新潟大農）
2. 造成・管理・栽培	
P05	暗渠の施工深と排水管の設置が草地の生産性、土壌物理性および排水性に及ぼす影響 岡元英樹1・河端亮一2・○林 哲央1・齊藤佑貴2・阿部将大3（1道総研酪農試天北支場・2北海道宗谷総合振興局産業振興部・3現：北海道空知総合振興局北部耕地出張所）
P06	暖地における春播きイタリアンライグラスの収量 後藤慎吉1・○金子 真2・池田堅太郎1・林 征幸2・加藤直樹3・松岡 誠1（1農研九沖・2現在：農研機構本部・3現在：農林水産省）
P07	木質バイオマス発電所焼却灰のイタリアンライグラスへの施用 ○石井康之・石谷碧里・新美光弘・井戸田幸子（宮崎大農）
P08	荒廃オーチャードグラス草地にペレニアルライグラスを追播した後の利用1年目の乾物草量に及ぼす土壌PH、2番草の刈取時期および追播機械の影響 ○東山雅一（農研東北）
P09	暖地型マメ科牧草ファジービーンおよびサイラトロの生育初期における根粒およびアーバスキュラー菌根の形成 ○飛佐 学・柿田英希・井戸田幸子（宮崎大農）
P10	荒廃オーチャードグラス草地にペレニアルライグラスを追播した後の利用1年目の2番草の栄養価に及ぼす土壌pH矯正と2番草の刈取時期の影響 ○東山雅一（農研東北）
P11	南九州地域における数種暖地型マメ科牧草の生産性の検討（3） ○飛佐 学（宮崎大農）
P12	九州北部における倒伏した子実トウモロコシのフモニシン汚染 についての事例報告 ○伊東栄作（農研九沖）
P13	日射制御可能な営農型太陽光発電の牧草栽培への活用：1.可動式および固定式パネルの比較 ○鈴木伴英1・八代田真人2・森 敏彦1・合原地亮3（1中部電力・2岐阜大応生・3ガリレオ）
P14	土地面積当たりの乳生産性を指標とした寒地型牧草の最適刈取回数 ○三枝俊哉・杉本健太・千葉晴登・佐々木殉子・泉 賢一・中辻浩喜（酪農学園大）
P15	無人航空機のStructure from Motion (SfM)における地表面高さを揃えるためのco-alignment処理の有効性 ○吉村元博・秋山征夫（農研北海道）
ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。ポスターは9月28日の12:00から16:00の間に撤去してください。16:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。	

ポスター発表 (とがちプラザ1F ギャラリー)	
コアタイム：27日11：00－12：00 奇数番号 28日11：00－12：00 偶数番号 高校生発表	
3. 放牧・家畜管理・行動	
P16	空間明示モデリングを用いてヒツジの放牧パターンをシミュレートする 典型ステップの事例 ○吉原 佑1・堀江連太郎2・甲野耀登3・宮坂隆文4・篠田雅人4 (1三重大・2雪印乳業・3東京大学・4名古屋大学)
P17	視界遮断が牛の脱柵関連行動に及ぼす影響 ○花村克起1・中嶋紀寛2 (1農工大農学府・2農工大FSセ)
P18	空間明示モデルを用いてヒツジの放牧パターンをシミュレートする 砂漠ステップの事例 ○吉原 佑1・堀江連太郎2・甲野耀登3・宮坂隆文4・篠田雅人4 (1三重大・2雪印乳業・3東京大学・4名古屋大学)
P19	野草地放牧における放牧圧と放牧日数が育成羊の増体量に及ぼす影響 ○浅野桂吾1・吉原 茜2 (1石川県大・2農研)
4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
P20	Effect of NaCl-FJLB inoculants on the fermentative quality of napiergrass silage Smerjai Bureenok1・○川本康博2・赤嶺 光3 (1Rajamangala University of Technology Isan, Thailand・2放送大学・3琉球大学)
P21	Effect of FJLB addition on fermentation quality of Leucaena and Napiergrass mixed silages ○Shikerete R. N1・Masaaki Hanada1・Toru Egi1・Naoki Fukuma1・Takehiro Nishida1・Yasuhiro Kawamoto2・Hikaru Akamine3 (1Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine・2The Open University of Japan・3University of the Ryukyus)
P22	オーチャードグラス (えさじまん) とアルファルファの混合割合および添加剤の有無がサイレージの発酵品質に及ぼす影響 ○土井和也・牧谷 侑・三枝俊哉・泉 賢一 (酪農大)
P23	和歌山県の肉用牛生産で給与されているエコフィードおよびその原料の飼料成分 ○堤 道生1・山中克己2・阪口宗平3 (1農研西日本・2山中動物クリニック・3エコマネジメント)
P24	Comparison of feeding value of three sorghum varieties grown in Tokachi region Sione Mafoa Lilo Leleifi・○Masaaki Hanada・Sakaya Masaki・Toru Egi・Masahiro Akimoto (Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine)
5. 生理・形態・病理・昆虫	
P25	トウモロコシに苗立枯症状を生じる土壌微生物の多様性； 岩手県での発生事例からの考察 ○菅原幸哉1・河本英憲2・篠遠善哉2・月星隆雄1 (1農研畜産・2農研東北)
ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。 ポスターは9月28日の12:00から16:00の間に撤去してください。16:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。	

ポスター発表 (とまちプラザ1F ギャラリー)	
コアタイム：27日11：00－12：00 奇数番号 28日11：00－12：00 偶数番号 高校生発表	
6. 育種	
P26	圃場条件におけるシバムギに対するチモシー競合力の品種間差異 ○足利和紀 (道総研畜試)
P27	未出穂型ソルガムと極早生ライムギの輪作体系における生産性と作付け体系の評価 ○種子朱莉・荒川陽香・竹山侑希・田中菜々・今井裕理子・春日重光 (信州大農)
P28	SNPデータを用いたチモシーの収量予測 ○飯田憲司1・山口直矢2・白澤健太3 (1道総研北見農試・2道総研中央農試・3かずさDNA研究所)
P29	未出穂型ソルガム「F60L」(仮称)の生育収量特性 ○田中菜々1・荒川陽香1・竹山侑希1・種子朱莉1・今井裕理子1・小山内光輔2・春日重光1 (1信州大農・2雪印種苗)
P30	年内草での出穂程度が高いもち病抵抗性イタリアンライグラス「九州3号」の特性 ○荒川 明・桂 真昭・高井智之・上床修弘・松岡 誠・波多野哲也・我有 満・山下 浩・木村貴志 (農研九沖)
P31	ペレニアルライグラス新系統「道東3号」の特性 ○河合佑香・立脇祐哉 (日草種協北海道支所)
7. 土壌・肥料	
P32	菌根共生におけるポリリン酸を介したリン輸送 大橋実佳・Nguyen Thi Cuc・○齋藤勝晴 (信州大農)
P33	もみ殻炭の施用がトウモロコシとダイズの子実収量に及ぼす影響 森 昭憲・山田大吾・○渋谷 岳 (農研畜産)
8. 高校生発表	
P34	十勝中央部における子実トウモロコシの栽培適性の評価 ○菅原春乃1・及川紀子1・上野拓実1・栗原柚貴1・鈴木晶絵1・森生元太郎2・太田航輔2・下生将也2・今 啓人3・林 拓3・三浦颯太1 (1帯広農業高校・2ホクレン・3道総研畜試)
P35	防除作業によるトラクタの踏圧が飼料用トウモロコシの生育および収量に及ぼす影響 -踏圧条件が異なる2カ年の年次間比較- ○早坂柗人1・岩佐巧貴1・鈴木一颯1・田辺瑠道1・今 啓人2・三浦颯太1 (1帯広農業高校・2道総研畜試)
P36	エコフィードを活用した黒毛和種の肥育試験 ○中村晴香・小野由良・上澤未来・水尻陽菜・村井柚奈・小笠原衣織・阿部柑太・川村大慈・小林寧々香・下久保美優 (三本木農業恵拓高校)
P37	高オレイン酸ヒマワリ種子飼料化に向けた研究 ○小野由良・中村晴香・上澤未来・水尻陽菜・村井柚奈・小笠原衣織・阿部柑太・川村大慈・小林寧々香・下久保美優 (三本木農業恵拓高校)
P38	GIS活用による牧野法適用によるバイオマス資源確保の試み ○白戸湊愛・塚田晴斗 (岩見沢農業高校)
ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。ポスターは9月28日の12:00から16:00の間に撤去してください。16:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。	